

平成27年度第1回流山市史編さん審議会会議録

1 日時 平成28年1月15日（金）

午後1時30分から午後4時00分まで

2 場所 流山市立中央図書館会議室

3 出席者等

（審議会委員）

小川浩会長 相原正義副会長 青柳孝司委員 小疇尚委員

下津谷達男委員 清藤一順委員 中村智委員 村田一二委員

山田友治委員 堀部昭夫委員 （全員）

（事務局）

直井生涯学習部長 小栗図書・博物館長 阿部図書・博物館次長

増崎学芸係長 金子主任学芸員 広瀬臨時職員

（傍聴者）

なし

4 議題

（1）平成27年度市史編さん事業について

（2）「流山市史研究 第23号」の投稿論文について

（3）その他

（阿部次長）

本日は大変お忙しい中、お集まりをいただきまして、誠にありがとうございます。

ただいまから平成27年度第1回流山市史編さん審議会を開催いたします。本日、司会進行をさせていただきます、図書・博物館次長の阿部でございます。よろしくお願いたします。

ただいまから、平成27年度第1回流山市史編さん審議会を開催いたします。会議の開催に先立ちまして、本日配布している資料を確認させていただきます。まず、会議次第及び審議会委員名簿を、お手元に配布させていただきます。また、先に会議資料といたしまして（1）平成27年度市史編さん事業についてと（2）流山市史研究第23号投稿論文及び説明資料を郵送させていただきました。また本日配布させていただきました、会議次第、委員名簿、流山市史編さんに関する指針、及び流山市史研究原稿募集ですが、お持ちでない方はいらっしゃいますでしょうか。

それでは、次第に添って進行させていただきますが、その前に相原副委員長が地域における社会教育の振興の功績に対し、平成27年11月2日に文部科学省から平成27年度社会教育功労者として表彰されたことをご報告いたします。相原委員おめでとうございます。

（相原委員）ありがとうございます。昨年11月2日に表彰を受けましたが、表彰を受けるにあたって自分が流山市の教育文化の向上に役に立つことをしてきたかを考えたのですが、自分としては何もしていない。またこれからがんばるといっても先も見えている。これからも皆さんの御協力をいただきながらやっていきますので、よろしくお願ひします。

（全員）拍手

（阿部次長）ありがとうございました。それでは、流山市教育委員会生涯学習部直井部長からごあいさつを申し上げます。

部長よろしくお願ひいたします。

（部長挨拶）

こんにちは。本来であれば教育長の後田がまいってご挨拶するところですが、本日校長会がありまして重なってしまいました。申し訳ございません。

今年は流鉄が開業して100周年ということで、各新聞社が動いております。その中で流鉄本社にいても、なかなか資料がない、記録が残っていないということです。史実を積み重ねて記録に残すことの大事さ

を痛感しております。今回市民の皆様のご投稿を御審議いただくという、難しいお願いをしてしまいました。実りある審議会になりますことをおねがいしたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

(阿部次長)

ありがとうございました。続きまして会長からごあいさつを頂戴いたします。小川会長よろしくお願ひいたします。

(小川会長)

この地方、昨日はトリマテの日でございまして、正月飾りをとる日でした。この地方では焼却するという習慣はございまして、産土神の御神木の根元に置きますと、1年後にはなくなっています。なぜこのようなことを云うかという、流山市西平井の古いお宅から千枚くらいお札を集めました。木のお札は江戸時代特定の祈願をしたお寺のもので、年号が書いてある。だいたい寛政の頃です。部長からお話があったようになかなか記録がないのですが、わずかにお札の年号が手がかりになります。鎌ヶ谷市でも調査しております。

今回は市史研究の投稿論文の審議という難しい問題でございしますが、委員の先生方の忌憚のない意見で解決していきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。

(阿部次長)

ありがとうございました。「流山市史編さん審議会条例」第6条第1項の規程によりまして、会議の議長は会長に務めていただく事となっておりますので、ここからは小川会長に進行をお願ひいたします。

(小川会長)

議事進行に先立ち、事務局に出席委員数の報告を求めます。

(増崎係長)

本日の会議につきましては、委員10名全員のご出席を頂いておりますので、「流山市史編さん審議会条例」第6条第2項により会議が成立している事を申し添えます。

(小川会長)

会議成立ということですので、次第により議事を進行させていただきます。

議題（１）平成２７年度市史編さん事業について、事務局から説明を願います。

（増崎係長）

それでは平成２７年度市史編さん事業についてこれまでの実績と、今後の予定についてご報告申し上げます。

資料の１ページです。

アの古文書解読事業ですが、平成２７年度は恩田家文書９００点を解読予定しており、１１月末現在６０８点終了しています。

次に、イ市史啓発事業といたしまして、「古文書講座」を予定しております。今年度のテーマは「古文書から見た江戸時代」で、講師は高尾善希さんで、経歴は武蔵野市むさしの歴史館学芸員、立正大学非常勤講師です。期日は今後の２月６日、２０日、３月５日、１９日を予定しております。

ウ出版事業は「流山のむかし」の再刊でございます。現在ほぼ原稿があがりまして、学芸員のなかで回してチェックをしているところです。これについては、変遷がありまして、金子からご報告いたします。

もうひとつ、この審議会の主なテーマとして「流山市史研究第２３号」の刊行ですが、現在５編の論文を預かっていますが、後ほど委員の皆様からご意見をいただきたいと存じております。

（金子主任学芸員）

「流山のむかし」は神社仏閣、史跡などを個別に案内する本で、人気をいただいていたのですが、平成２１年以来欠品となっているところから、今回再刊しようというものです。

調べてみますと、古くから発行されていることがわかりました。最初は昭和４５年に「流山の昔を訪ねて」、次に項目をふやして４６年に「改訂増補 流山の昔を訪ねて」になっています。その後、昭和４９年に「流山の史跡を訪ねて」という、現在と同じ判型になります。内容はほとんど変わりません。次は昭和５４年の「流山の旧史旧跡」となります。こ

こまでは、伝承・伝説などをそのまま書いてあります。平成元年の「流山のむかし」からは、伝承や東葛飾郡誌からの引用などを明記して、通史的に記述しています。しかしまだ不十分なところもあり、解りにくいところもあります。今回、伝承などは更に明確にし、また一般の方にわかりやすく簡潔にして再刊ということで、現在原稿を精査しているところです。

(小川会長)

只今、事務局から説明のありました(1)平成27年度市史編さん事業について、ご意見のある方はいらっしゃいますか。

解読している古文書の年代は何時頃のものですか。

(金子主任学芸員)

江戸時代後期から明治時代です。

(相原委員)

「流山のむかし」の版を改める時、間違いは訂正するのですか。具体的には東初石のオランダ観音ですが、オランダ馬を鈴木という牧士が射殺したと書かれていますが、一色先生が解読して病死であるとされた点はどうですか。

(金子主任学芸員)

その点は修正しております。

(小川会長)

そのほか、ございますか。

特にないようですので、事務局の方で十分検討して再刊をすすめていただくということで、よろしく申し上げます。

(小栗館長)

ありがとうございます。

(小川会長)

では、議題(2)市史研究の投稿論文についてに入ります。事務局から説明を求めます。

(小栗館長)

流山市史「研究」は隔年で刊行する計画になっており、本年度は刊行の年にあたります。現在5本の投稿があり、すでにお手元に郵送させていただきました。「流山市史編さんに係る指針」の(2)「流山市史研究」編集基準ウにより、掲載については審議会の意見を求めるものとされていることから、ご意見を頂戴するものです。

(小川会長)

では、審議をはじめますが、委員各位には自由なご意見をいただいて適正な審議をおこないたいと存じますことから、流山市情報公開条例第23条2号の規定により、会議を非公開とします。事務局は議場を閉鎖してください。

議場閉鎖

5本の論文について審議し、すべての論文について問題点が指摘され、書き直して掲載をするのが適当であるとの意見となった。

議場開場

(小川会長)

では議題(3)のその他についてはいかがでしょう。

(中村委員)

委員の任期も限られているので、親睦会をやりませんか。

(委員) 了解

(小川会長)

市民からの投稿を求めると、いろいろ問題がでてくる。市史の刊行が終わってしまった場合ありがちなことであるが執筆者がいなくなる。それを補うためには投稿を受けることになるが、「市史研究」をどういうレベルで維持するかという問題になる。

投稿規定を周知徹底し、執筆者に「論文」か「研究ノート」か「調査報告」か分けていただく。

引用は具体的に明記していただく。市民からの投稿を受けるには引用の仕方なども細かく規定しておく必要がある。

(相原委員)

モデル原稿を用意したらよいのではないか。相談があったときに提示する。

(小川会長)

論文の形式を提示する。以上を検討していただくということでいかがでしょう。

(委員) 了解

(小栗館長)

解りました。そういう形のものを整えていきたいと思います。

(小川会長)

その他ございますか。

(小栗館長)

事務局からはありません。

御意見を頂戴した論文については、審議会の御意見を踏まえたうえで投稿者に対応いたします。

(小川会長)

無いようですので、よろしければ、これにて平成27年度第1回流山市史編さん審議会を終了といたします。

(阿部次長)

皆様、長時間のご審議お疲れ様でした。ありがとうございました。

以上をもちまして、平成27年度第1回流山市史編さん審議会を閉会させていただきます。

(閉会午後4時)